

（仮称）小柴貯油施設跡地公園の公開に向けて工事に着手します！

横浜市では、平成 17 年度に返還された小柴貯油施設（金沢区柴町ほか）の跡地を活用し、面積約 55.8ha の広域公園の整備を計画しています。

このたび、平成 29 年 6 月 26 日に開催された第 145 回横浜市都市計画審議会の答申を受け、本日、本公園を都市計画に決めました。また、並行して進めていた、環境影響評価手続についても、評価書の縦覧が公告されました。

今後、環境影響評価手続としての着手届の提出後、基盤整備工事等に着手し、平成 32 年度の一部公開に向け、公園の整備を進めます。

《（仮称）小柴貯油施設跡地公園の概要》

- | | |
|--------|---|
| 1 所在 | 金沢区柴町、長浜、長浜二丁目、並木三丁目 |
| 2 面積 | 約 55.8ha |
| 3 公園種別 | 広域公園 |
| 4 主要施設 | 多目的レクリエーション広場、里山農体験拠点、森づくりの活動拠点、環境学習・体験広場、タンク広場 等 |

《経緯》

- | | |
|-------------------|------------------------------|
| 昭和 23 年 10 月 3 日 | 旧日本海軍の施設が米軍により接收 |
| 平成 17 年 12 月 14 日 | 小柴貯油施設の陸地部分全域が返還 |
| 平成 21 年 6 月 11 日 | 開港 150 周年の森植樹祭を開催 |
| 平成 26 年 7 月 22 日 | （仮称）小柴貯油施設跡地公園の基本計画策定 |
| 平成 26 年 8 月 1 日 | 環境影響評価手続に着手 |
| 平成 29 年 6 月 26 日 | 横浜市都市計画審議会に付議 |
| 平成 29 年 7 月 14 日 | 都市計画変更（追加）の告示および環境影響評価書縦覧の公告 |



お問合せ先

環境創造局公園緑地整備課 担当課長 甲斐 泰夫 Tel 045-671-4610

裏面あり

公園計画の概要

■公園計画の基本テーマ：「緑からつくり育む環境体感公園」

森と海に抱かれた自然空間を、市民が憩い、集い、楽しむとともに、みどりアップや生物多様性、地球環境の大切さを、市民が感じ、学び、育てる緑の拠点とします。また、これまでの計画等を踏まえ、「緑」、「環境」、「歴史と景観」の3つのつながりに重点をおいた計画とします。

■整備概要図



■ゾーニング計画

エリア	エリアの考え方
緑の広場空間創造エリア	平坦な地形を生かした広場を中心とした空間とし、緑花も含めた新たな緑の創造を図ります。また、管理センターや駐車場など管理施設を設置します。
里山空間再生エリア	柴シーサイドファームに隣接し、ホテルなどが生息する細長い谷戸地形です。生物の生息環境の再生や市民協働による樹林地の保全などを行いながら、農体験もできる里山里山空間の再生を目指します。
自然環境保全エリア	旧来の樹林地など自然環境の保全を基本とします。
活動・体験・学習エリア	地下タンクなどの処理を行いながら、緑の再生を図るとともに、緑や環境に係る様々な活動や体験、学習の場を目指します。

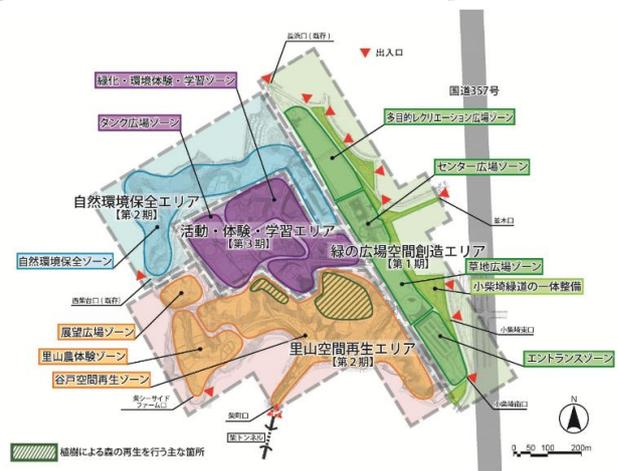


図 2.3-2 ゾーニング図

■整備スケジュール（予定）

本公園は、平成 44 年度の整備完了を予定しています。施工は 3 期に分けて行い、整備が完了したエリアから供用を開始します。

	平成 29～34 年度	平成 35～38 年度	平成 39～44 年度
第 1 期	平成 31～32 年度一部供用開始		
第 2 期	樹林地保全管理・植樹等		
第 3 期	タンク処理、樹林地保全管理・植樹等		